

科目・コース（ユニット）名 BSL プライマリーコース（放射線健康管理学・放射線災害医療学）【医学5】

（英語名称） Radiation Health Management and Radiation Disaster Medicine

担当責任者 大津留 晶、長谷川 有史 開講年次 5年 開講学期 通年 必修 授業形態 実習

概要／方針等

放射線災害医療の基礎を身につけるとともに、放射線被ばく・放射性物質による汚染傷病者の診療や、汚染拡大防止・汚染検査・除染・線量評価・放射線防護についての実習。放射線災害後の地域医療・保健における健康管理、スクリーニングのあり方、総合診療、健康リスクコミュニケーション、メンタルヘルスについての実習。

学習目標

一般目標（GIO）：

放射線の基礎知識をもとに、福島第1原子力発電所事故後の福島の現状を理解する。福島で生活する住民が感じる放射線に関する疑問についても自ら考える。県民健康調査の結果をもとに、住民の健康問題を解決してゆくための方策を考えてゆく。被ばく・汚染傷病者に対する医療処置と汚染拡大防止策などを習得する。

行動目標（SBOs）：

（1）放射線と健康に関する臨床医学と測定実習（BSL 第1日目）：水曜日

- ① 放射線災害医療の基本知識等の確認と、ディスカッションにおいて自らの考え方を述べることができる。
- ② 東日本大震災の概要について、グループでプロブレムマップを作成できる。
- ③ 放射線の健康リスクに関し説明するとともに、医療や保健の分野の優先事項を説明できる。
- ④ 原発事故前後の環境放射線と線量評価について説明できる。
- ⑤ 測定器を使った放射線の測定ができる。
- ⑥ 避難者の状況を理解し、メンタルヘルスの状況を説明できる。
- ⑦ 放射線事故の歴史を理解し、急性放射線症候群の病態を解説できる

（2）放射線と健康に関する臨床医学と相談実習（BSL 第2日目）：木曜日

- ① 甲状腺疾患を理解した上で、甲状腺スクリーニングの意味について述べるができる。
- ② WBCによる内部被ばく検査と、一次予防の考え方を、健康問題の観点より説明できる。
- ③ 放射線不安や健康不安をもつ人とのリスクコミュニケーションについて解説できる。
- ④ 模擬健康相談演習において相談対応ができる。
- ⑤ 放射線災害の社会的な問題点について、解説できる。
- ⑥ 症例問題で、放射線災害下の総合診療における臨床判断ができる。

（3）放射線と健康に関するまとめ（BSL 第3日目）：金曜日

県民健康調査の結果からまとめを行う。また、よろず健康相談、地域診療、甲状腺検査、出前授業、出張説明会、放射線災害医療セミナー、原子力防災訓練、放射線災害医療関連国際会議などに、日程調整がつけば参加予定。

（4）緊急被ばく医療・放射線災害医療実習（BSL 第4日目、救命救急医学BSLの第2週水曜日に行う）

- ① 救急基本知識、緊急被ばく医療の基本知識を説明できる。
- ② 外傷患者初期診療に放射性物質汚染・被ばくが加わった場合の対応ができるようになる。
- ③ 放射線災害を想定した机上演習において、診療の準備・実施内容・被ばく線量計算などができるようになる。

その他（メッセージ等）：放射線健康管理・災害医療実習の前週末に、学生のメールアドレス宛てに、IDを送付する。災害医療総合学習センターのホームページの e-learning 応用編を、実習前までに下記5項目をすべて修了しておくこと（全課程の所要約90分）。(1) 放射線の基礎知識Ⅰ、(2) 放射線の基礎知識Ⅱ、(3) 東京電力福島第1原子力発電所事故、(4) 避難者の生活とメンタルヘルス、(5) 緊急被ばく医療

集合時間：第1日目8時30分 第2、4日目9時、第3日目の集合時間は都度連絡。

集合場所：放射線災害医療センター（附属病院1階東端）、

授業計画／

(1) 放射線と健康に関する臨床医学と測定実習 (BSL 第1日目): 水曜日

- ① 8:30-9:00: オリエンテーション
- ② 9:00-9:50: 東日本大震災の概要のプロブレムマップ作成
- ③ 10:00-12:00: 放射線と健康
- ④ 13:00-15:00: 放射線測定実習
- ⑤ 15:10-16:00: 避難者の状況とメンタルヘルス
- ⑥ 16:00-17:00: 社会コミュニケーション特論

(2) 放射線と健康に関する臨床医学と相談実習 (BSL 第2日目): 木曜日

- ① 9:00-10:20: 甲状腺疾患と超音波スクリーニング
- ② 10:30-12:00: WBC 実習
- ③ 13:00-14:30: 健康相談実習
- ④ 14:40-15:40: リスクコミュニケーション特論
- ⑤ 15:50-16:40: 症例検討

(3) 放射線と健康に関するまとめ (BSL 第3日目): 金曜日

- ① 9:00-9:30: 県民健康調査オリエンテーション
- ② 9:30-12:00: 実習またはフィールドワーク (1)
- ③ 13:00-16:00: 実習またはフィールドワーク (2)
- ④ 16:00-17:00: まとめ

県民健康調査の結果をみて、どのような保健・医療上の対応が必要かまとめる。また、よろず健康相談、地域診療、甲状腺検査、出前授業、などに、日程調整がつけば参加し、まとめの参考にする。

尚、フィールドワークの出発時間は、都度調整する。

(4) 緊急被ばく医療・放射線災害医療実習 (第4日目、救命救急医学 BSL の第2週水曜日に行います)

- ① 9:00-12:00: 外傷患者初期診療に放射性物質汚染・被ばくが加わった診療実習
- ② 13:00-15:00: 放射線災害机上演習
- ③ 15:10-16:00: 急性放射線症候群
- ④ 16:00-16:30: まとめ